

糸島市新庁舎建設設計監理業務 公募型プロポーザル審査講評

1. 選定結果

最優秀者

株式会社梓設計 九州支社

2. 評価点数

294.5点（400点満点）

3. 選定委員の構成

	氏名	所属等
委員長	鶴崎 直樹	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授
委員	黒瀬 武史	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授
委員	井上 和雄	市民代表
委員	甘利 昌也	糸島市 副市長
委員	三角 孝志	糸島市 総務部長
委員	浦志 素彦	糸島市 建設都市部長
委員	末松 隆明	糸島市 市民部長

4. 審査講評

糸島市は、老朽化や機能的劣化等に起因する現市庁舎の様々な課題を解決するとともに、市民サービスの向上を図るために策定した「新庁舎建設計画」（平成31年3月）に基づき、糸島市新庁舎建設設計監理業務公募型プロポーザル（以下、設計者選定プロポーザル）を実施し、7名の委員より構成された糸島市新庁舎建設設計監理業務委託候補者選定委員会がその審査と選定を担当した。高難度の設計条件や業界の状況がもたらしたものが応募者数は1者に留まったものの、真摯に審査課題に取組み、自身の技術とノウハウとが最大限に発揮された秀逸な案が応募者より提示されたことは喜ばしく、応募者に対し敬意を表したい。

さて、今回の設計者選定プロポーザルでは、技術審査のテーマとして、安全・安心を支える防災拠点としての庁舎、利便性・機能性・効率性に優れた庁舎、経済的で環境にやさしい庁舎、まちづくりを創造する「糸島らしい」庁舎、の4つを提示し応募者に提案を求め審査を実施した。具体的には、応募者による提案書類とプレゼンテーションの内容について、自然災害に対する市庁舎の強靱性や災害時の防災拠点としての機能性、市民ニーズの多様化・高度化がもたらす行政需要の変化に対する空間の明瞭性、利便性および柔軟性、市庁舎のライフサイクルコスト削減や環境負荷への配慮内容とその効果、糸島市の風土や地域特性の解釈に基づく提案の妥当性等について審査を行った。

また、質疑応答により工期、コスト、意匠、構造、環境対策等に関する様々な点や設計意図を正確に確認し、さらに、提案内容の的確性、独創性、実現性の観点より慎重な審議を経て設計者選定作業を進めた。

このような厳正な審査により、応募者の新市庁舎建設計画および業務内容の十分な理解度、豊富な経験と技術を提供し得る全社的な対応の可能性、高度なコミュニケーション力を有する担当技術者の配置、優れた技術提案力とともに実施プロセスにおける柔軟性を評価し、選定委員全員一致で株式会社梓設計九州支社を最優秀者として選定した。

今後、設計者に対しては、基本設計・実施設計を進める際に設計者選定プロポーザルで評価された点を活かすとともに、発注者の意見や要望に柔軟に対応しながらより質の高いものへと昇華させ、新たな時代における糸島市民の拠り所となる新市庁舎の建設に貢献されることを期待したい。そのために、特に以下の3点を選定委員会の附帯意見として添えるものである。

(1) コスト管理

予定建設工事費5,410百万円（外構工事費含む）の範囲内で提示された今回の技術提案の設計業務の過程では、段階的なコスト管理を行い、十分に発注者と情報を共有すること。特に建築工事の段階では、施工業者との調整を密に行うこと。

(2) 動線計画および設備計画

利用者のアクセス上の利便性や市庁舎の環境負荷に強く影響するメインエントランスの向きや室内空間については十分に発注者と協議を行い決定すること。

(3) 関連する整備計画との調整

新市庁舎が丸田池公園に隣接することから同公園の再整備基本計画との調整を十分に図りながら市庁舎の位置や形状、外構デザイン等の検討を行うこと。

糸島市新庁舎建設設計監理業務委託候補者選定委員会
委員長 鶴崎 直樹